

令和5年度 第2回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月22日（木） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階CSルーム
- 3 出席委員 青山 敏郎、溝口 玄、田中 綾、太田 亜希子、植田 渉
- 4 欠席委員 内野 永土、藤澤 徳次、今場 嘉寿、長田 テツ子
- 5 オブザーバー 増田 建一（竜川ふれあいセンター所長）、
森下 智子（竜川主任児童委員）、藤原 二三美（龍山主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 河内 浩（校長）、川村 雄司（教頭）、伊藤 卓也（CS担当）
沖 みどり（CSディレクター）
- 8 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から植田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 運動会について
- (2) 学校環境について
- (3) 学校のきまり「横山小学校の約束」について

13 会議記録

司会の川村教頭から、委員総数9人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 運動会について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき5月27日に開催した運動会について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 運動会では、子供たちに元気をもたらした。楽しい1日になった。地域ではテントの貸し出しをしたが、搬入や搬出、片付けをみんなですていただき、自治会も困ることなく楽しんでいった。日頃お会いできない方もたくさん来ていただけて、小学校のおかげでよかったと思う。

（溝口副会長）

- ・ 今回の運動会は、子供たちにプレゼンテーション能力を磨かせる場であったと思う。子供たちの力を発揮させるために、大人たちがまわりで準備等頑張っていたのがわかる運動会でもあった。その連携を毎年持続させていってほしい。(青山会長)
- ・ 大人が楽しんでいる姿を見せる事が、子供たちの活力になるのだと思った。コロナ禍から、また一つ楽しみが戻ってきた。来年度はもう少し準備期間を増やし、地域の人を呼ぶことができれば、もっと盛り上がるのではないかと。(太田委員)
- ・ 子供たちが生き生きと楽しんでいる姿が印象的だった。観覧された保護者からも、来年度も同じような運動会をやりたい、との要望があった。(田中委員)
- ・ 個人的にも楽しかった。地域の方も盛り上がっていた。バルーンリリースも参加者全員が同じ方向をずっと見続けているのが印象的で、記憶に残るような運動会ができてよかったと思う。もう少し地域の方への周知ができていけば、もっと人が集まったのではないかと。来年度は、今年の運動会の様子を口コミで広めていけば、観覧者も増やせるのではないかと。(植田委員)
- ・ 天気に恵まれてよかった。地域の方の参加もできてよい運動会だった。地域の方たちの応援や協力により、すばらしい運営ができてよかったと思う。(増田オブザーバー)
- ・ 以前に比べ、地域の方たちの参加が少ないように思えた。子供たちの一生懸命さに感動し、高学年の子が低学年の子の面倒をみている姿に心が温まった。楽しいひとときを過ごさせていただいた。(藤原オブザーバー)
- ・ 一輪車に全員乗れることがすごいと思った。苦手な子にもみんなでフォローしあう姿に感動し、応援したくなった。コロナでできなかったことができて良かったし、楽しかった。(森下オブザーバー)

CS担当の伊藤より、今回の運動会で設営したテントの位置についてと、改善点についての意見を頂戴したい旨の話があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 今回のテントの配置は、確かに遠かったように感じる。(増田オブザーバー)
- ・ テントの位置は、小規模の学校としての課題として、来年度に生かせばよい。(青山会長)
- ・ 来訪人数の想定ができなかったため、遠い場所になってしまったのでは。(太田委員)
- ・ 来訪者が少なかったのは、地域への周知が遅かったためだと思う。(植田委員)
- ・ 座る場所も不明瞭だったように思う。(溝口副会長)
- ・ 回覧板を回す日が5日と20日だけと、地域で決まっている。来年度は、それを把握したうえで対応していくとよい。(青山会長)
- ・ 来年度は、今年の運動会の様子を記載したものをいっしょに回覧してはどうか。(植田委員)

- ・ 地域に体協や組織がなくなってしまっている今、今回、地域がどこまで関わってよいのかがわからない状況であった。(溝口副会長)

(2) 学校環境について

校長の案内により、校内施設の巡回を行い、復席後、委員からは以下の発言があった。

- ・ 久しぶりに校内を歩き、懐かしく思った。また、学校側の管理や保管の大変さを感じた。資料室においては、地域に開放する日があってもよいのではないだろうか。校庭等の草刈りは、自治会が手助けできると思う。(溝口副会長)
- ・ 全体的に人が足りないのだと思った。資料室においては、定期的に管理や温存が必要となりどう保管していくかが大事である。草刈りについては、地域の方に、計画を立ててお願いしていくとよい。(青山会長)
- ・ 同じ敷地内にある幼稚園は、小学校と管轄が違うと聞いたが、勝手に草刈りをしてはいけないのか。(太田委員)
- ・ 幼稚園は行政で管轄が違うので、草刈りは行政に頼んで別の予算で行っている。草を刈ることができないわけではないが、単純に手が回らない。(校長)
- ・ 以前の幼稚園を知っているだけに、寂しく思えた。(田中委員)
- ・ 草取りを子供たちに手伝わせて、大変さをわからせてもよいのでは。資料館には見入ってしまった。先祖の生活の証をこのまま残して欲しいと思った。(植田委員)
- ・ 学校にかかわっていただいている地域の方々の顔とお名前が掲示されており、所要上参考になったとともに、学校にとってありがたい人材であると思った。また、野生動物の子供たちへの被害が心配で、何かよい体制がとれないかと思った。(増田オブザーバー)
- ・ 以前の様子と比べ変わったところが多く、人手が足りないことを実感した。(藤原オブザーバー)
- ・ 少人数の職員で学校全体を管理するのは、とても大変だろうと感じた。(森下オブザーバー)

(3) 学校のきまり「横山小学校の約束」について

教頭から、この議案について、時間の都合上次回に繰り越したい旨の提案があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

市川学校支援コーディネーターから、2学期より家庭科の学習ボランティアについて、協力が得られたことの報告があった。また、教育総務課から、協議会自己評価について説明があった。

司会からは、次回会議について、令和5年10月17日(火)午後2時からCSルームで開催する旨の報告があった。